



あと一步の向上に向けた取組

函館市立潮光中学校

生活習慣・学習習慣の形成 基礎的・基本的な知識・技能の習得 望ましい学習態度の育成 学校組織・指導体制の改善

1 学力向上の具体的な方策

- ① 学習習慣・心構えの徹底
- ② 各教科で、言語活動の充実
- ③ 意図的、組織的に子どもへの関わり

2 取組の概要

- ① 〈学習習慣・心構えの徹底〉
 - ・ 授業準備の徹底（休み時間の有効活用-教室移動、トイレ・保健室利用。チャイム着席。次時の授業準備の徹底。）
 - ・ 集団行動や規律の徹底（礼儀・マナー、授業に望む姿勢。）
 - ・ 家庭学習の向上（継続的な家庭学習への取組。）
- ② 〈各教科で、言語活動の充実〉
 - ・ 言語活動の充実は、国語科だけに限定するのではなく、全ての教科で育むことが大切であり、教育活動の様々な機会を通して意図的に、伝達、説明、発表、表現の場面を設定した。
- ③ 〈意図的、組織的な子どもへの関わり〉
 - ・ 年2回の生徒指導交流、また、日常的な生徒の情報の伝達を行い、生徒一人一人の状況を把握して、担任や教科担任からの指導・助言等を行った。
 - ・ 教育相談での教科相談、面接での指導等、組織的に全教職員が生徒に関わった。

3 成果（○）と課題（●）

- 生徒一人一人に3年間継続した指導の結果、学習習慣が定着し、学力向上につながった。
- 学習習慣（家庭学習への取組）が定着していない生徒もいるので、継続して指導する必要がある。
- 各教科で言語活動の充実に図り、校内では自らの考えなどを、伝達、説明、表現できるようになったが、校外等大きな舞台などでは、臆するところがある。体験・経験値の少なさが課題である。